

造幣局から「那智の扇祭り」を題材とした七宝章牌を贈呈頂きました。**【実施年月日】**

2023年（令和5年）7月3日（月）

【実施場所】

和歌山県庁 本館3階 知事室

【贈呈式の主な出席者】

独立行政法人造幣局 理事長 後藤 健二 様

和歌山県知事 岸本 周平



七宝章牌「那智の扇祭り」

【経緯等】

独立行政法人造幣局では、平成21年から「日本の祭り」をテーマにした七宝章牌を製造しており、今年は「那智の扇祭り」が題材として選ばれました。

「那智の扇祭り」は、毎年7月14日に行われる熊野那智大社の例大祭で、那智の大滝を舞台に、燃え盛る大松明を担いだ氏子らが火の粉を散らし参道を練り歩くことから、通称「那智の火祭り」とも呼ばれています。平成27年には国の重要無形民俗文化財に指定されており、和歌山を代表する祭りの一つです。

この度、造幣局の後藤理事長から和歌山県に対し、完成した七宝章牌「那智の扇祭り」及び那智の扇祭り貨幣セットの贈呈が行われました。

※七宝章牌（しっぽうしょうはい）とは

七宝章牌は、造幣局が勲章製造に用いる七宝技術を駆使して仕上げた金属工芸品です。七宝とは、金属の下地にガラス質の釉薬を盛り付け、焼き付けたもので、盛り付けや焼き付けの作業の出来が、微妙な色合いを左右するため、入念な作業が必要となります。

精巧な技術をもつ熟練した職人が、細心の注意を払って製造した、造幣局の技術が詰まった美しい工芸品です。



贈呈の様子（後藤理事長、知事）



懇談の様子